

パナソニック×[Alexandros]×花王アタックがタッグを組んだ「#センタク」プロジェクト
[Alexandros] 書き下ろしテーマソング「日々、織々」が遂に完成！
楽曲を使用した第二弾「#センタク」CM新生活篇を公開

作詞・作曲をつとめた川上洋平さんが新曲「日々、織々」の
制作秘話や想いを語るインタビューを同時公開

パナソニック株式会社（以下、パナソニック）と、花王株式会社アタック（以下、花王アタック）は、毎日の家事のひとつである洗濯を楽しみ、喜びを感じてほしいという思いから立ち上げた共同プロジェクト、『「#センタク」プロジェクト』を、2021年10月19日（火）[洗濯を楽しむ日]からスタートしました。そして川上洋平さんが作詞・作曲をつとめた本プロジェクトのテーマソングである[Alexandros]の新曲「日々、織々」を使用した、第二弾「#センタク」CM新生活篇を2022年2月15日（火）に公開します。また、川上洋平さんがプロジェクトメンバーと対談を行い、プロジェクトの起点となったパーパスや新曲の制作秘話について語り合う記事も公開します。



「僕以外に渡したくなかった」と語る『「#センタク」プロジェクト』のテーマソング制作
作詞・作曲をつとめた川上洋平さんが語る曲に込めた想いとは

『「#センタク」プロジェクト』とテーマソング「日々、織々」について

僕としてはコンポーザー、つまり劇伴みたいな役割だと受け取りました。一緒にひとつのアートをつくり出していくような、（初めてお話を伺ったときは）2社とバンドを組むような感覚で挑めそうだなと思ったので、すごくそこは面白いなと思いましたね。僕自身、会社員をやっていたころ、「洗う」とか「キレイにする」ということに関わる業種の営業を担当していて、今回のお話は運命だったのかなと思っています。だから、僕以外に渡したくないと思いました（笑）。



「日々、織々」の「織」に込めた想い

プレスでの「折る」ではなく、編む方の「織る」にした背景には、パナソニックさんと花王さんの2社とバンドを組みような感覚で一緒に曲を作ってきた想いがあります。だから編む方の糸を紡いでいく字面の「織」にしました。プロジェクトの絆も織っているという意味もあります。

「日々、織々」のメロディーについて

明る過ぎず暗過ぎない、平坦で淡々としているイメージはなんとなくメンバー全員の中にありました。僕はその中で清潔になろうとする過程を描きたいという想いがありました。少し毒っ気があるところからくぐり抜けて脱し明日にいきたい、という自分からの脱皮を含めたりする時は、もう少し熱くなる部分も垣間見えたりした方がいいかななどと想像を巡らせました。その想いをメロディーにできたことはとても良かったと思います。

「日々、織々」の歌詞へのこだわり

歌詞を書くときはすごく無意識という状態を大事にしているんです。「白いシャツの中をくぐって」は、本当にデモのままで、ふと出てきたんですね。歌い終わって聴いたら「白いシャツの中をくぐって」いいじゃんと思って、そのままにしたんです。「ライム色を拭って」という歌詞は、ライム色がプロジェクトのキーカラーということを知る前から自然に出てきました。「ライム色を拭って」が何を意味するのか、聴く方が想像できる部分だと思うので、ぜひ聴いて感じてほしいです。ちなみに僕は「黄身の無いオムライス」が一番気に入っています（笑）。

<「#センタク」CM概要>

タイトル : 「#センタク」CM 新生活篇
放映開始日 : 2022年2月15日（火）～
URL : <https://youtu.be/rFizGEnRgPU>
特別出演 : 川上洋平 [Alexandros]
使用楽曲 : [Alexandros]「日々、織々」

■CMカット



■「日々、織々」歌詞

歌詞の無断転載を禁じます

日々、織々

作詞・作曲：川上洋平 編曲：[Alexandros] & Takashi Saze

ありっかけの魔法をもって
語りたがる月を纏って
君のライム色を拭って
朝に流れていこう

ありっかけの魔法をもって
白いシャツの中をくぐって
黄身のないオムライス作って
流れて流れていけ

今日は何しよう？
零れ落ちそう
セミダブルの海へ

あくび混じり
ため息継ぎ
何oh oh 追いかけて？

ドア開け放ち
広がった街
突然、とおり雨

不安混じり
思考は常に
雨の no no のち晴れ

動き出した 今日
どんな一日だろうか？
ひねくれながら
真っ直ぐ結んで
日々、織々

ありっかけの魔法をもって
小雨通りをかいくぐって
少しめんどくさくなって
傘持たずにいこう

ありっかけの魔法をもって
濡れっばなしのシャツ洗って
他愛もないことで騒いで
流れて流れていけ

「繊細な所あるよね、意外と」
笑い飛ばすも夜眠れず
些細な事を引きずり落ち込んで
多分また寝れない また寝れない

そこはかとなき
憂いは胸に
喉には全て水に流し

皮肉混じり
君のいじり
赤裸々lala な歌

に変換して 今日が
どんな一日だろうが
ほころびながら
真っさら解いて
日々、織々

物足りない夜
どこかへ消えたくなる
I'm going out

僕らはいいつも何かしらを探して

ありっかけの魔法をもって
語りたがる月を纏って
君のライム色を拭って
朝に流れていこう

ありっかけの魔法をもって
白いシャツの中をくぐって
黄身のないオムライス作って
流れて流れていけ

流れて流れていけ
流れて流れていけ

■[Alexandros]プロフィール



2007年本格始動。数多くのロックフェスティバルでのヘッドライナーやスタジアムでのワンマンライブ等ライブ活動に定評があり、TVドラマやCM、映画など多岐に亘り楽曲提供を行い幅広い層に支持をされている4人組ロックバンド。

2015年にリリースした「ワタリドリ」はYouTubeとストリーミングの総再生回数が3億回を超え、今や誰もが知る楽曲となっている。2020年にはデビュー10周年を迎え、昨年3月には初のベストアルバム『Where's My History?』をリリースし、続く5月にロングヒット中のシングル「閃光」をリリース。そして今年第一弾シングルとして、2月16日にニューシングル「Rock The World / 日々、織々」をリリースする。

《[Alexandros]オフィシャルHP》
<https://alexandros.jp>

『「#センタク」プロジェクト』のテーマソング「日々、織々」が遂に完成！
作詞・作曲をつとめた川上洋平さんがプロジェクトメンバーと対談を行い
プロジェクトの起点となったパーパスや新曲の制作秘話について語り合う記事公開

タイトル：「洗濯は未来への選択」パナソニックと花王アタック、ロックバンド[Alexandros]
が共鳴し選択した「新しいパーパスブランディング」

URL：<https://panasonic.jp/life/housework/100089.html>

出演者：[Alexandros] Vo.&Gt. 川上洋平

パナソニック(株)CMJ本部 コミュニケーション部 木村知世

花王(株)ファブリックケア事業部 アタックマーケティング担当 榎原淳太



<参考>

『「#センタク」プロジェクト』について

コロナ禍でご家庭の洗濯事情も一変。洗濯回数や洗濯量が増え、洗濯って、面倒で、大変で、ストレスで、時に失敗して、疲れる…といった声がたくさん聞こえてくるようになりました。

“洗濯は「今日までの自分を洗い流して、明日また生まれ変わる」尊い選択（センタク）”。洗濯は自分のため、家族のため、出会う誰かのためでもあつたりします。「ただしいセンタク」、「あたらしいセンタク」「しんじられるセンタク」など洗濯に関するお役立ち情報をお届けし、こういう時期だからこそ、日々追われる家事のひとつである洗濯において、洗濯の楽しみや喜びを感じて欲しいという想いから、パーパスブランディングを目的に、2021年10月19日「洗濯を楽しむ日」にスタートしました。

プロジェクトは、電機メーカーのパナソニック、洗濯用洗剤の花王アタックとともに、人気ロックバンド[Alexandros]と進行しています。

#センタク

これからをセンタクしよう

洗濯は未来への選択だと思ふ。

明日、明日日、もしかしら一年後のために。

大切に着たい服。誰かに着てほしい服。毎日つかうタオル。

洗濯はいつだって、これらを生きるための選択になる。

だからこそ、ただしいセンタクをしたい、信じられるセンタクをしたい、安心なセンタクをしたい。

そうすればきっと、たのしい、うれしい、さもちい、そんなセンタクになるはず。

いい洗濯を選択しよう。これからはセンタクしよう。

きっと、いま必要なセンタクも分かるはずだから。

さあ、洗濯に悦びを。

Panasonicと花王の「#センタク」プロジェクト 進行中です。



Panasonic

KaO